

第 17 回議会運営委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和 3 年 11 月 4 日 (木曜) 1 4 時 3 0 分 開会		
	休 憩 14:35-36 15:43-55 16:22-40		
	1 7 時 0 2 分 閉会		
会 議 場 所			
出 席 委 員 氏 名	委員長 中村 和宏	委 員 渡辺洋一郎	
	副委員長 正村紀美子	委 員 黒田 栄継	
	委 員 鈴木 健充	委 員 常通 直人	
	委 員 中田智恵子		議 長 早 苗 豊
欠 席 委 員 氏 名			
説 明 等 に 出 席 し た 者 の 氏 名	総務課長 佐々木 快治		
事 務 局 職 員	事務局長 安田 敦史	総務係長 佐藤 史彦	主査 上田 瑞紀

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開 会

- ・委員長が開会を告げ、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議 件

(1) 調査事項

- ア 令和 3 年芽室町議会定例会11月臨時会議の運営について 資料 1
- イ 議会だより11月号について 当日資料 2
- ウ 議会だより12月号の編集企画について 資料 3
- エ 第 1 回モニター会議の振り返りについて 当日資料 4
- オ 定数と報酬のあり方について 当日資料 5

3 その他

- (1) 次回委員会の開催日程 (予定) について
- (2) その他

2 議 件

- ア 令和 3 年芽室町議会定例会11月臨時会議の運営について 資料 1
 - ・総務課長：資料1-1説明。
 - ・正村副委員長：資料1-2説明。
 - ・委員長：それぞれ提案予定事項について説明あったが、質疑は。
 - ・(質疑なし)
 - ・正村副委員長：資料 1 の「2」～「4」説明
 - ・委員長：資料 1 の「2」～「4」について質疑は？

- ・委員長：他に質疑はないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：提案通りで決定する。

イ 議会だより 11月号について 当日資料2

- ・鈴木委員：資料説明（全8ページ編集の旨を説明）。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・(質疑なし)
- ・委員長：なければ提案内容で決定する。

ウ 議会だより 12月号の編集企画について 資料3

- ・鈴木委員：資料説明（全8ページ編集）。
- ・委員長：質疑はないか？
- ・常通委員：両委員会において「土地利用」に係る事項が議論となっている。「財産（行政・普通）」の定義と共に、各委員会における「土地利用」に関する調査事項の内容を分かりやすい体裁で掲載してはいかがか？編集会議で検討し、12月号か1月号で、今後の住民公表について検討していただきたい。
- ・鈴木委員：「財産」や「土地利用」については、住民の皆さんにとっては少し難解で、専門性の高い内容ではある。しかしながら、委員会での議論が重ねられていることであり、可能な範囲でわかりやすい体裁で広報できるよう、何月号とはここで確約できないが、編集に向けて検討していきたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・委員長：なければ、提案内容で決定する。

エ 第1回モニター会議の振り返りについて 当日資料4

- ・委員長：当日資料として提出いただいた「まとめ」について、各委員からの説明を求める。
- ・鈴木委員：Aグループの「まとめ」の説明。
- ・渡辺委員：Bグループの「まとめ」の説明。
- ・常通委員：Cグループの「まとめ」の説明。
- ・中村委員長：Dグループの「まとめ」の説明
- ・委員長：今日の協議目的について、共通認識を図る。この場では、各グループの「まとめ」を共有し、委員相互に他のグループの「まとめ」への質問と確認、そして、資料に記載の5つの項目で全体を分析したい。他のグループの「まとめ」について、意見や質問はないか？
- ・(意見・質問なし)
- ・委員長：それでは、5つの項目を順に分析する。①『積極的に議会の情報を公開し、議会の認知度の向上を図る』という目的に現行のSNSが役割を果たしているか？』について、委員個人もしくはグループ議論の結果として、意見はないか？
- ・常通委員：C班の議論としては、目的を果たしていると捉えている。

- ・渡辺委員：結論から言えば、役割を果たしていると考える。
- ・黒田委員：一定の効果は果たしている。ただ、「目的」を変える必要もあるという意見もあった。
- ・中田委員：残念ながら私のグループではSNSの利用は皆無だったが、他のグループでは、活用されている話題もあった。グループ間での差は感じるが、一定の目的は果たしていると考える。
- ・鈴木委員：モニターさんが、SNSを全く見ていないということではなかったので、SNSの手法は一応の役割を果たしていると考える。ただ、改善すべき点は存在する。
- ・正村副委員長：SNSの受け手であるモニターからは「関心がない」というような意見が大半だった。SNSだけでは、目的達成の役割が果たし切れていない実感がある。
- ・委員長：次に②「SNSの活用は、年代によって活用状況によって差があるが、『関心の高いツールは何か？』『強化すべきツールは何か？』『見直すべきツールは何か？』について」意見はないか？
- ・渡辺委員：SNSの各媒体は、年代や時代によっても、流行や浮き沈みのあるものである。見直しは、それぞれの特徴を見ながら考える必要がある。
- ・黒田委員：SNSの媒体は、個人ごとに嗜好や使い勝手により選択されているため、個別の分析は、かなり難しいものである。フェイスブックよりインスタグラムが若い世代では主流という話はあるながら、(インスタは) 議会の情報発信手段としては、「そぐわない」のではないかという意見があった。
- ・常通委員：今後は、ユーチューブも検討すべきでないか。
- ・中田委員：フェイスブックは議会だよりの媒体に類することで、他の媒体と比較すると活用度が高いが、そもそも、議会中継に関心がないという中では、ユーチューブに媒体を拡大することには迷いがある。
- ・鈴木委員：私のグループでは、フェイスブックは古いという見解が出された。どんなツールでも、受け手にとって面白さや興味がなければ見られないと感じる。
- ・正村副委員長：そもそも、関心がなければ見ない媒体がSNSである。その背景で、SNSを強化する必要性はあるのか？一度、原点に立ち返り根本的に目的を検証する時期でもある。
- ・委員長：次に③「行政とは違う視点で、住民意見を『政策』に反映する手法となっているか？今後、強化すべき、見直すべき、継続すべき事項は何か？」について意見はないか？
- ・渡辺委員：「政策に反映する手法」とは考えていない。仮にその手法とするなら、そもそもの目的から変えていかなければならない。
- ・黒田委員：私も同感である。住民意見を政策に反映するのであれば、見直すべきは「運用ポリシー」となる。モニターさんからの意見で出された議員個々の情報を発信する必要があるか、どうか？それも「ポリシー」の見直しとなる。
- ・常通委員：SNSは情報発信であり、政策反映の手法ではないと考えている。
- ・中田委員：私も同感で、政策に反映する手法ではないと考える。

- ・鈴木委員：モニターからも同じ意見であった。SNSを通じて積極的に意見を聴くという媒体とは認識されていない。あくまでも公開・発信の媒体と捉えられている。
- ・正村副委員長：私も同感である。「ポリシー」にあるとおり、一方向で是。ただ、今後に向けて「双方向性」の役割も必要になるのではないか。
- ・委員長：次に④「年齢に応じたきめ細かな情報発信となっているか？」について、意見はないか？
- ・渡辺委員：きめ細かな情報発信にはなっていないと考えている。また、見ている人の年齢の確認はできないため、実状は把握できないが、わかりやすい表現で発信することは必要と感じる。
- ・黒田委員：渡辺委員と同意見である。
- ・常通委員：「年齢に応じた」ということは意識していない。全年齢に向けて発信しているイメージである。
- ・中田委員：私も同感である。議会の情報発信となると、特定の年齢への発信とはならないと考える。
- ・鈴木委員：細やかな情報発信はしていると考えている。ただ、年齢に応じたものにはなっていない。
- ・正村副委員長：そもそも見ていない方が多く、議会だよりが有効媒体となっていることも理解できた。世代に分けた広報は課題が多いと感じる。
- ・委員長：最後に⑤「情報を発信する手段の課題（人員、業務能力、業務負担）」について意見はないか？
- ・渡辺委員：実際の操作は事務局なので、最後に、意見をいただきたい。活用指針があれば、業務の目安となり、事務局も仕事をしやすいと思う。
- ・黒田委員：情報発信については、改善すべき点は必ずあると思う。ただ、全てを一気に変えることなく、認知度の向上につながるためへの挑戦と併せて、見直すことが妥当と捉える。
- ・常通委員：議会としての情報発信につき、議員個々の発信媒体でないため、これまで通りで可と感じる。課題はあるはずなので、点検は必要である。
- ・中田委員：事務局の業務量について、正確に把握はできていないが、作業量の精査は必要と考える。
- ・鈴木委員：量的にも質的にも、業務量が多いと感じる。このままで良いのか、それとも、どこを改善するのか検討すべき。見れる人だけ見れば良いのか？若いモニターから率直な意見があり、見直すことは大事である。
- ・正村副委員長：SNSは不可欠なツール。ただ、過大な経費や仕事量の検討をすべきと感じる。
- ・総務係長：SNSの運用は、それぞれの「ポリシー」に基づいている。主にフェイスブックとホームページが活用の主体である。ライン、ツイッターは今年度は1度のみ。それぞれの媒体の特徴を生かして運用することが必要となる。先般の総務経済常任委員会での嵐山に関するアンケート調査はすべてのツールを使った。また、議会だよりも含めて、議員各位の写真掲載については、枚数や大きさなど議員間

- の公平性などにも配慮する必要がある、情報発信の際に精査が加わる業務である。
- ・委員長：他にないか？本日はここまでの協議とする。意見・質疑はないか？
(意見・質疑なし)
 - ・委員長：調査事項「エ」について終了する。
 - ・議長：モニター会議の振り返りについて、意見を申し上げる。SNSの取扱いに関する分析の重要な視点のひとつは、「役割は何か」である。委員共通の認識を見出していきたい。いうまでもなくSNSは、広報の手段のひとつ。議会白書は年の動き、議会だよりは月の動き、日々の動きはSNSという区分である。その役割を共通認識した上で、議会が何を発信したいのか？役割は何か？ここを明確にすべきである。すべてを一つの媒体で完結できるものではないことを認識して、検討を進めていただきたい。

オ 定数と報酬のあり方について

当日資料5

- ・事務局長：「検討経過」「前回の協議結果と根拠・視点」「今回の議論テーマ／議員定数」の説明。参考資料として「諮問会議の記録」等の説明。
- ・委員長：すでに配布されている資料をはじめ、自主調査・研究を踏まえて、前回に引き続き、各委員の意見を求める。今回は「議員定数について」である。調査情報があれば、意見の根拠も併せて述べていただきたい。
- ・渡辺委員：議員の定数を考える際に、前回も申し上げたが、住民の福祉向上に寄与する視点が重要。議会は改革することが目的ではない。改革とは「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指した結果の姿と考える。現行数は委員長を除くと7名と6名の委員会。適当な数である。
- ・黒田委員：委員会成立要件を考えたときに、最低必要数が現行定数と考える。議会の姿が、今後いっそう進化していくことで、町民皆さんからも理解を得られるものとする。
- ・中田委員：一つの指標として、町の事務事業数を踏まえた調査機能の確保、また、町民が捉える議員の存在感の希薄性を払しょくし、改善する取り組みを担うという視点からも、現行定数が相応しいと考える。
- ・鈴木委員：人口の推移を見通しても、住民の意見を聴く役割としても、当面は現行定数を維持していくことが必要と考える。
- ・正村副委員長：2減を提案したい。1つは議会改革の進展。2つは少子高齢化による今後の人口減。3つは住民参加の充実。研究資料の「町村議会議員の議員報酬等のあり方最終報告（概要）」では、「定数の再確認」の原則事項として、「住民参加の気運や風土の確保」についても言及されており、本町ではその素地が確立されていることからの提案である。
- ・委員長：他にないか？なければ、今回はここで終了する。

3 その他

(1) 次回の委員会開催日程について

正副一任

(2) その他

- ・常通委員：本日まで4日間の日程で実施した「白樺学園高等学校との連携協定事業」について、「振り返り」の項目について協議したい。「案」はすでに（10月29日に）事務局から委員各位にメールされ、委員の意見を踏まえて修正されている。本日、決定し、速やかに各グループの「振り返り」を行えるように進めたい。ポイントは、事業自体の振り返りのほか、生徒から出された意見の反映・実現に向けた取り組みをするか否かである。
- ・委員長：意見はないか？
- ・正村副委員長：「3」について、生徒から出された意見の反映となっているが、これは事業の目的にはなく不要ではないか？
- ・渡辺委員：私も同感である。高校生が地域活性化を自分事として考察する学習であり、意見反映は不要と考える。
- ・常通委員：例えば、街路灯が暗いとか出された意見について、何も行動しないということは気になる。ショッピングモール建設等大がかりの要望は叶えることはできないが、反映できるものがないかの整理は必要でないか？
- ・黒田委員：振り返りシートの目的は何か？議会のためか？白樺高校に対しての返答か？
- ・常通委員：議会内部として、今後の事業につなげるための振り返りである。
- ・黒田委員：出身地が十勝管外等の生徒もいて、その地元の課題が挙げられていた例もあり、意見を反映するのであれば、最初から事前に共通認識を図っておくと良かったと考える。記録するなら、各グループ出された意見の整理をしておくレベルで可。
- ・鈴木委員：意見の反映というより、各グループの感想を記録しておく方が良いのでは。
- ・委員長：委員各位の意見を総括して、全議員に「グループワークの感想」を含めて「振り返り」シートを提出していただくこととしたい。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：決定する。

- ・委員長：他にないか？
- ・総務係長：「その他資料2＜北大訪問日程（1104版）＞」の説明。北大から8日の午前・午後もしくは9日の午前に議会（議運委員）への中間報告が予定されている。日程が確定するのは7日の夜。ご承知置きいただきたい。
- ・（意見・質疑なし）
- ・委員長：委員各位のご理解をお願いします。

- ・総務係長：「その他資料3（ホームページサンプル）」の説明。前回説明時の意見を反映した体裁での説明。
- ・委員長：意見はないか？

- ・渡辺委員長：フォントはユニバーサルフォントか？フォントは大きくなるか？
- ・総務係長：文字は「縮小」「拡大」も機能があり、ユニバーサルフォントの確認はする。
- ・委員長：他に「その他」案件はあるか？
- ・(委員、議長、事務局なし)

以上をもって委員会を閉会する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和3年11月4日

議会運営委員会委員長 中村和宏